



2026年6月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社アイリックコーポレーション 上場取引所 東
コード番号 7325 URL <https://www.irrc.co.jp>
代表者 （役職名） 代表取締役社長CEO （氏名） 勝本 竜二
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 相原 尚昭 TEL (03) 5840-9551
定時株主総会開催予定日 2026年9月29日 配当支払開始予定日 2026年9月30日
有価証券報告書提出予定日 2026年9月28日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、個人投資家向けオンライン開催）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年6月期の連結業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年6月期	10,964	16.3	703	△5.2	711	△5.5	392	△9.8
2025年6月期	9,424	19.0	741	49.7	752	39.7	435	23.8

（注）包括利益 2026年6月期 415百万円（△8.0％） 2025年6月期 451百万円（24.3％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2026年6月期	48.02	47.60	10.1	11.4	6.4
2025年6月期	53.14	52.65	11.6	13.4	7.9

（参考）持分法投資損益 2026年6月期 ー百万円 2025年6月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年6月期	6,415	3,983	60.8	476.91
2025年6月期	6,051	3,944	64.2	474.89

（参考）自己資本 2026年6月期 3,899百万円 2025年6月期 3,883百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年6月期	725	△1,137	138	1,948
2025年6月期	1,075	△461	△262	2,222

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 （合計）	配当性向 （連結）	純資産配当率 （連結）
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2025年6月期	ー	0.00	ー	30.00	30.00	245	56.5	6.5
2026年6月期	ー	16.00	ー	16.00	32.00	261	66.6	6.7
2027年6月期（予想）	ー	16.00	ー	16.00	32.00		58.9	

（注） 1、直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2、2025年6月期期末配当金の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2027年6月期の連結業績予想（2026年7月1日～2027年6月30日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	5,919	12.1	180	△44.6	180	△45.2	87	△48.0	10.68
通期	12,556	14.5	812	15.6	814	14.4	444	13.2	54.34

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規－社 （社名）－、 除外－社 （社名）－

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2026年6月期	8,708,000株	2025年6月期	8,708,000株
2026年6月期	530,667株	2025年6月期	530,667株
2026年6月期	8,177,333株	2025年6月期	8,193,771株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年6月期の個別業績（2025年7月1日～2026年6月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期	7,383	16.0	525	△12.9	527	△13.6	292	△17.9
2025年6月期	6,362	9.8	603	20.1	610	13.1	356	3.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期	35.75	—
2025年6月期	43.45	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期	4,896	3,558	72.7	435.17
2025年6月期	4,534	3,642	80.3	445.42

(参考) 自己資本 2026年6月期 3,558百万円 2025年6月期 3,642百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等の注記)	11
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善などを背景に、緩やかな回復基調が続いております。先行きについては、各種政策の効果が景気を下支えすることが期待される一方で、米国の通商政策の動向、中東情勢、金融資本市場の変動などの影響については、引き続き注視していく必要があります。

当社グループが属する保険業界においては、改正保険業法が2026年6月1日に施行され、顧客本位の業務運営や体制整備義務の強化が一層求められる環境となっております。当社グループにおいても、法令遵守体制の強化や苦情対応の適正化、募集業務の透明性向上など、改正法への対応を重要な経営課題の一つとして位置づけ、信頼性の高いサービス提供体制の強化に取り組んでおります。

このような環境の中、当社グループは、2026年6月期を初年度とする3か年計画をスタートいたしました。更なる成長と資本効率の両立を基本方針とし、経営資源の最適配分を通じて、持続的な企業価値向上を目指しております。特に「保険クリニック事業」では、来店型保険ショップのブランド力強化を通じて、成約件数や顧客満足度のさらなる向上を目指すとともに、「ソリューション事業」においては、A Sシリーズを保険業界に特化したパーティイカルSaaSとして確立すべく、プロダクト開発を加速してまいります。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は10,964百万円（前期比16.3%増）、営業利益703百万円（同5.2%減）、経常利益711百万円（同5.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益392百万円（同9.8%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「保険販売事業」「ソリューション事業」「システム事業」の3セグメントから、「保険クリニック事業」「F A事業」「ソリューション事業」「システム事業」の4セグメントに変更しております。このため、前連結会計年度との比較については、セグメント変更後の数値に組み替えて比較を行っております。

① 保険クリニック事業

『保険クリニック』の店舗数は、新規出店や2025年7月及び2025年12月に実施した事業譲受などの影響により前連結会計年度末に比べ直営店が21店舗増加の108店舗、F C店が3店舗増加の199店舗（合計307店舗）となりました。

当連結会計年度も、『保険クリニック』のアンバサダーとして、藤岡ファミリーを継続起用し、顧客層をターゲット化した効率的なW e b広告やS N S施策などを継続して実施いたしました。直営店部門においては、店頭での集客施策の効果もあり、W e b及び店舗での来店予約数が増加し、来店数は前期比30.8%増の40,078件と好調に推移いたしました。さらに、成約件数についても、好調な来店数の増加に加え、店舗数の増加や一時払い終身保険や変額保険等の特定商品の販売が引き続き堅調に推移したことから、前期比20.0%増の22,865件となりました。

F C部門は、F C加盟登録企業が純減2社の105社となりましたが、W e bからの送客によるF Cとの共同募集手数料は前年同期を上回る水準で推移いたしました。今後も、W e b送客のさらなる強化を継続するとともに、①新規リクルート活動の強化、②既存代理店への追加出店の提案、③店舗運営指導要員の派遣という施策を実施し、他業界からの新規参入企業への支援と取り込みを行ってまいります。

費用面では、店舗数の増加に伴う人件費及び地代家賃の増加に加え、来店数増加に向けマーケティング活動を強化したことなどにより、前期比21.5%増となりました。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は5,817百万円（前期比21.4%増）、セグメント利益は918百万円（同20.9%増）となりました。

② F A事業

F A事業においては、子会社である株式会社ライフアシストにおいて、前期までに新規採用の強化を図った結果などから、好調に推移いたしました。また、当社のF A部門も、当初の計画を上回り堅調に推移しており、売上高及び営業利益は前年同期を上回る結果となりました。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は2,275百万円（前期比27.2%増）、セグメント利益は112百万円（同566.0%増）となりました。

③ ソリューション事業

A Sシリーズのユーザーのうち、代理店・金融機関向けは2025年6月に生成A Iを活用し各保険会社の約款・取扱規定等を集約した「A S F i N D E R（エーエス ファインダー）」をリリースするなどの影響で前連結会計年度末に比べ10.0%増加の7,782 I Dと増加し、M R Rも増加いたしました。一方で、保険会社向けのM R Rは、前第4四半期連結会計期間に大手取引先1社との契約が解除となった影響等により減少いたしました。ストック売上は堅調に推移いたしました。また、フロー売上は、前連結会計年度に計上した大型の受託開発案件の反動減により、前年

同期を下回りました。MR Rを継続的に増加させ、保険業界に特化したバーティカルSaaSとして確立すべく、引き続きA Sシリーズの開発を推進してまいります。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は1,388百万円（前期比6.5%減）、セグメント利益は341百万円（同39.7%減）となりました。

（注）MR Rとは、Monthly Recurring Revenueの略称で、毎月のサブスクリプション売上などの継続性の高い収益のことです。

④ システム事業

子会社である株式会社インフォディオは、『スマートOCR』に加えA Iを活用したプロダクトサービスの拡充を図っております。書審A Iそれらプロダクトサービスのライセンス収入や保守・運用によるストック収入が着実に増加いたしました。

この結果、同事業の当連結会計年度の売上高は1,958百万円（前期比8.6%増）、セグメント利益は101百万円（同38.1%減）となりました。

（注）『スマートOCR』とは、A I（人工知能）を搭載し、ディープラーニング技術（深層学習、人間が自然に行うタスクをコンピュータに学習させる機械学習の手法の一つ）を活用した、非定型帳票対応の次世代型光学的文字認識システムです。

（注）『書審A I』とは、申込書や契約関連書類の審査・確認業務を自動化するA Iエージェントです。定型業務の自動化を通じて、業務効率化と審査品質の向上を実現します。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は3,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ221百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が173百万円減少したことによるものであります。固定資産は2,806百万円となり、前連結会計年度末に比べ584百万円増加いたしました。これは主に、顧客関連資産が275百万円、保証金が130百万円、有形固定資産が73百万円、ソフトウェアが19百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は6,415百万円となり、前連結会計年度末に比べ363百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は2,362百万円となり、前連結会計年度末に比べ302百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金が500百万円増加し、契約負債が125百万円減少したことによるものであります。固定負債は68百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に、繰延税金負債が9百万円、長期借入金が8百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は2,431百万円となり、前連結会計年度末に比べ324百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は3,983百万円となり、前連結会計年度末に比べ38百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益の計上392百万円があった一方で、配当金の支払いによる減少376百万円があったことによるものであります。

この結果、自己資本比率は60.8%（前連結会計年度末は64.2%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ273百万円減少し、1,948百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は725百万円（前年同期は1,075百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益643百万円、減価償却費419百万円、法人税等の支払額306百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,137百万円（前年同期は461百万円の使用）となりました。これは主に、事業譲受による支出451百万円、無形固定資産の取得による支出297百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は138百万円（前年同期は262百万円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の増加額500百万円、配当金の支払額375百万円等によるものであります。

（4）今後の見通し

当社グループは、3か年計画（2026年6月期～2028年6月期）の2年目を迎えます。初年度において、ソリューション事業において見込んでいた受託開発案件の一部が未受注となったこと等を踏まえ、2027年6月期の計画を見直したものの、最終年度である2028年6月期の計画は据え置いております。

「保険クリニック事業」においては、最終年度の目標達成に向け、店舗網の拡大を支える人材の採用・育成を積極的に進めるとともに、店舗開発機能及び運営体制の強化を図ってまいります。

「ソリューション事業」においては、保険業法の改正による事業環境の変化を成長機会と捉え、当社グループが20年以上にわたり培ってきた知見と技術力を活かし、ASシリーズの機能強化及び導入拡大を推進してまいります。また、受託開発案件を中心としたフロー売上への依存度を低減し、MR Rの拡大による収益予見性の高い事業構造への転換を進めることで、保険業界に特化したバーティカルSaaSとしての成長を加速させてまいります。

2027年6月期は、人材採用・育成及びMR R拡大に向けた先行投資を実施するため、上期は減益を見込んでおりますが、通期では増収増益を見込んでおります。

次期（2027年6月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高12,556百万円（前期比14.5%増）、営業利益812百万円（同15.6%増）、経常利益814百万円（同14.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益444百万円（同13.2%増）と増収増益を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当連結会計年度 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,222,780	2,048,794
売掛金及び契約資産	1,232,005	1,220,070
その他	378,641	340,845
貸倒引当金	△3,634	△1,387
流動資産合計	3,829,792	3,608,322
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	584,570	711,472
減価償却累計額	△247,488	△294,457
減損損失累計額	△83,051	△91,085
建物附属設備（純額）	254,030	325,929
車両運搬具	8,555	10,824
減価償却累計額	△7,222	△5,805
車両運搬具（純額）	1,332	5,019
工具、器具及び備品	241,128	248,148
減価償却累計額	△176,701	△180,221
減損損失累計額	△7,129	△8,843
工具、器具及び備品（純額）	57,296	59,083
リース資産	17,089	—
減価償却累計額	△9,590	—
リース資産（純額）	7,498	—
建設仮勘定	—	3,796
有形固定資産合計	320,158	393,829
無形固定資産		
のれん	124,910	195,894
ソフトウェア	741,964	761,881
ソフトウェア仮勘定	1,650	23,882
顧客関連資産	351,388	626,412
その他	679	679
無形固定資産合計	1,220,593	1,608,750
投資その他の資産		
投資有価証券	43,481	32,581
保証金	455,626	585,883
繰延税金資産	64,502	58,634
その他	166,030	175,585
貸倒引当金	△48,400	△48,400
投資その他の資産合計	681,241	804,285
固定資産合計	2,221,993	2,806,866
資産合計	6,051,786	6,415,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年 6 月 30 日)	当連結会計年度 (2026年 6 月 30 日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	81,424	76,534
短期借入金	—	500,000
1年内返済予定の長期借入金	16,000	24,000
未払金	528,162	568,122
未払費用	101,997	127,809
未払法人税等	199,331	104,757
契約負債	816,700	691,664
賞与引当金	69,416	34,484
役員賞与引当金	21,108	—
その他	225,579	235,276
流動負債合計	2,059,721	2,362,649
固定負債		
長期借入金	—	8,000
繰延税金負債	12,908	22,633
その他	34,503	38,344
固定負債合計	47,411	68,977
負債合計	2,107,132	2,431,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,354,780	1,354,780
資本剰余金	1,302,859	1,302,859
利益剰余金	1,615,901	1,632,394
自己株式	△390,173	△390,173
株主資本合計	3,883,368	3,899,862
新株予約権	15	15
非支配株主持分	61,270	83,684
純資産合計	3,944,653	3,983,561
負債純資産合計	6,051,786	6,415,188

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
売上高	9,424,658	10,964,067
売上原価	2,056,527	2,596,493
売上総利益	7,368,130	8,367,573
販売費及び一般管理費	6,626,508	7,664,291
営業利益	741,621	703,282
営業外収益		
受取利息	1,033	4,654
受取賃貸料	25,818	23,568
受取補償金	3,365	—
その他	5,152	5,770
営業外収益合計	35,369	33,994
営業外費用		
支払利息	1,313	4,805
賃貸収入原価	22,690	20,499
その他	264	338
営業外費用合計	24,267	25,643
経常利益	752,723	711,632
特別利益		
固定資産売却益	3,808	1,516
受取和解金	11,318	—
特別利益合計	15,126	1,516
特別損失		
固定資産除却損	4,861	4,768
減損損失	64,478	33,343
情報セキュリティ対策費	10,289	—
投資有価証券評価損	—	10,899
賃貸借契約解約損	—	20,514
特別損失合計	79,629	69,526
税金等調整前当期純利益	688,220	643,622
法人税、住民税及び事業税	268,939	212,965
法人税等調整額	△32,003	15,592
法人税等合計	236,935	228,558
当期純利益	451,284	415,064
非支配株主に帰属する当期純利益	15,836	22,414
親会社株主に帰属する当期純利益	435,448	392,650

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
当期純利益	451,284	415,064
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
包括利益	451,284	415,064
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	435,448	392,650
非支配株主に係る包括利益	15,836	22,414

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	1,354,780	1,302,859	1,344,599	△369,923	3,632,317	15	45,433	3,677,765
当期変動額								
剰余金の配当			△164,146		△164,146			△164,146
親会社株主に帰属する当期純利益			435,448		435,448			435,448
自己株式の取得				△20,250	△20,250			△20,250
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						—	15,836	15,836
当期変動額合計	—	—	271,301	△20,250	251,051	—	15,836	266,887
当期末残高	1,354,780	1,302,859	1,615,901	△390,173	3,883,368	15	61,270	3,944,653

当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					新株予約権	非支配株主 持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
当期首残高	1,354,780	1,302,859	1,615,901	△390,173	3,883,368	15	61,270	3,944,653
当期変動額								
剰余金の配当			△376,157		△376,157			△376,157
親会社株主に帰属する当期純利益			392,650		392,650			392,650
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)						—	22,414	22,414
当期変動額合計	—	—	16,493	—	16,493	—	22,414	38,907
当期末残高	1,354,780	1,302,859	1,632,394	△390,173	3,899,862	15	83,684	3,983,561

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	688,220	643,622
減価償却費	329,241	419,619
減損損失	64,478	33,343
のれん償却額	18,849	21,487
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△756	△2,247
支払利息	1,313	4,805
固定資産売却損益 (△は益)	△3,808	△1,516
固定資産除却損	4,861	3,768
受取和解金	△11,318	—
情報セキュリティ対策費	10,289	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△338,409	6,810
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,520	△4,600
仕入債務の増減額 (△は減少)	28,197	△4,889
賞与引当金の増減額 (△は減少)	28,364	△34,932
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,518	△21,108
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	10,899
前払費用の増減額 (△は増加)	△45,050	△43,322
未払金の増減額 (△は減少)	75,847	43,749
未払費用の増減額 (△は減少)	△37,396	25,808
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,985	18,294
契約負債の増減額 (△は減少)	515,259	△125,036
その他	△85	37,434
小計	1,292,073	1,031,990
利息及び配当金の受取額	1,258	4,637
利息の支払額	△1,313	△5,061
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△216,547	△306,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,075,471	725,501
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△74,289	△154,225
有形固定資産の売却による収入	5,891	—
無形固定資産の取得による支出	△305,826	△297,361
事業譲受による支出	△147,500	△451,841
定期預金の預入による支出	—	△100,000
非連結子会社株式の取得による支出	△10,000	—
投資有価証券の償還による収入	100,000	—
差入保証金の差入による支出	△56,942	△131,003
差入保証金の回収による収入	37,153	9,589
その他	△10,007	△13,066
投資活動によるキャッシュ・フロー	△461,519	△1,137,908
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	500,000
長期借入れによる収入	—	48,000
長期借入金の返済による支出	△74,000	△32,000
自己株式の取得による支出	△20,290	—
配当金の支払額	△164,103	△375,930
リース債務の返済による支出	△3,626	△1,648
財務活動によるキャッシュ・フロー	△262,020	138,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	351,931	△273,986
現金及び現金同等物の期首残高	1,870,849	2,222,780
現金及び現金同等物の期末残高	2,222,780	1,948,794

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「保険クリニック事業」、「F A事業」、「ソリューション事業」及び「システム事業」の4事業を報告セグメントとしております。

当連結会計年度より、報告セグメントを従来の「保険販売事業」「ソリューション事業」「システム事業」の3セグメントから、「保険クリニック事業」「F A事業」「ソリューション事業」「システム事業」の4セグメントに変更しております。

上記のセグメント変更に伴い、前連結会計年度のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

「保険クリニック事業」は、来店型保険ショップ『保険クリニック』の直営店舗の運営を行うとともに、F C（フランチャイズ）店舗に対して運営支援、保険販売に関するノウハウの提供等を行っております。

「F A事業」は、法人、法人経営者及び富裕層向けに、保険商品の提案・販売および保険を活用した各種ソリューションの提供を行うとともに、保険以外の金融商品の取扱いを行っております。

「ソリューション事業」は、当社グループが独自開発した『A S－B O X』をはじめとする保険販売に係る『A Sシリーズ』の提供を通じて、金融機関、保険代理店及び企業代理店の保険募集業務を支援しております。

「システム事業」は、A Iを活用したプロダクト・サービスの開発、保守及び販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースでの数値であります。

セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	保険クリ ニック事業	F A 事業	ソリュー ション事 業	システ ム事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,792,440	1,788,566	1,475,392	1,368,258	9,424,658	—	9,424,658
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	8,751	435,152	443,904	△443,904	—
計	4,792,440	1,788,566	1,484,144	1,803,411	9,868,562	△443,904	9,424,658
セグメント利益又は損失(△)	759,844	16,887	565,467	164,536	1,506,735	△765,114	741,621
セグメント資産	1,772,852	581,243	837,541	1,516,747	4,708,385	1,343,401	6,051,786
その他の項目							
減価償却費	162,551	22,395	115,584	62,004	362,535	△33,294	329,241
減損損失	64,478	—	—	—	64,478	—	64,478
のれんの償却額	12,810	6,039	—	—	18,849	—	18,849
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	279,380	13,979	200,122	128,331	621,813	△21,290	600,523

（注） 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△765,114千円には、セグメント間取引消去△8,463千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△756,651千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,343,401千円には、セグメント間債権債務消去△116,965千円、セグメント間未実現利益消去△117,706千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,578,074千円が含まれております。全社資産は、余剰運用資金（現金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間未実現利益の消去△41,040千円、各報告セグメントに配分していない全社費用7,745千円であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△21,290千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額16,016千円、セグメント間未実現利益の消去△37,306千円であります。
2. セグメント利益又は損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント					調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	保険クリ ニック事業	F A 事業	ソリュ ーション事 業	システム事 業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,817,011	2,275,943	1,378,549	1,492,563	10,964,067	—	10,964,067
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	9,616	466,180	475,797	△475,797	—
計	5,817,011	2,275,943	1,388,166	1,958,744	11,439,865	△475,797	10,964,067
セグメント利益又は損失(△)	918,418	112,461	341,185	101,802	1,473,867	△770,585	703,282
セグメント資産	2,423,576	585,455	762,155	1,303,002	5,074,190	1,340,997	6,415,188
その他の項目							
減価償却費	223,632	22,496	142,677	68,847	457,653	△38,033	419,619
減損損失	29,161	4,181	—	—	33,343	—	33,343
のれんの償却額	15,448	6,039	—	—	21,487	—	21,487
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	737,762	3,901	183,813	43,205	968,683	△36,251	932,431

（注） 1. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益又は損失の調整額△770,585千円には、セグメント間取引消去△13,880千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△756,704千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等の販売費及び一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額1,340,997千円には、セグメント間債権債務消去△79,126千円、セグメント間未実現利益消去△122,786千円、各報告セグメントに配分していない全社資産1,542,910千円が含まれております。全社資産は、余剰運用資金（現金等）及び管理部門等に係る資産であります。
 - (3) 減価償却費の調整額は、セグメント間未実現利益の消去△46,422千円、各報告セグメントに配分していない全社費用8,389千円であります。
 - (4) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額△36,251千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額25,916千円、セグメント間未実現利益の消去△62,167千円であります。
2. セグメント利益または損失は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上である顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高の10%以上である顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	保険クリニック事業	F A 事業	ソリューション事業	システム事業	調整額	合計
当期償却額	12,810	6,039	—	—	—	18,849
当期末残高	44,885	80,024	—	—	—	124,910

当連結会計年度（自 2025年7月1日 至 2026年6月30日）

（単位：千円）

	保険クリニック事業	F A 事業	ソリューション事業	システム事業	調整額	合計
当期償却額	15,448	6,039	—	—	—	21,487
当期末残高	121,909	73,985	—	—	—	195,894

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり純資産額	474円89銭	476円91銭
1株当たり当期純利益金額	53円14銭	48円02銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	52円65銭	47円60銭

(注) 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	当連結会計年度 (自 2025年7月1日 至 2026年6月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (千円)	435,448	392,650
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益金額(千円)	435,448	392,650
普通株式の期中平均株式数(株)	8,193,771	8,177,333
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	△4,066	△3,426
(うち子会社の発行する潜在株式による調整 額)(千円)	(△4,066)	(△3,426)
普通株式増加数(株)	—	—
(うち新株予約権(株))	(—)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1 株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在 株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。